



コロナ禍での長泉寺この一年

この一年、新型コロナウイルス感染症拡大が止まらない未曾有の事態の中、長泉寺が行っている恒例行事のほとんどが中止あるいは内容変更を余儀なくされました。

今年度護持会総会は、執行部会で検討し感染防止の観点から書面審議としました。事業並決算報告・新年度事業計画並予算案の資料を全役員に送付、書面議決書を提出してもらい賛成多数により可決承認されました。

この議決により、新型コロナウイルス感染症の問題を考慮し護持会費は今年度全檀家一律千円減額したことは既にご承知の通りです。

四十年以上続いてきた毎日曜早朝の坐禅会は五月連休明けから現在も休止中。ピカピカの新小学一年生入学お祝い安全祈願、いのちを見つめる講演会・コンサートなども三

密を考慮して中止しました。宗門が主催する本山研修や特派布教・特派梅花・県や全国の梅花奉詠大会・各種研修行事も全て取りやめになっています。楽しみにしていたお檀家の方々からは「残念ですが致し方ありません。」との声が届いてきました。

県外のお檀家からは、県境を越えての移動は自粛とのことから、ご供養についてどうしたらよいかとの問い合わせが多数ありました。そのよう方にはご供養や墓参を代行し、お塔婆や回向の證を送りました。

地元の方々の本堂での法事には、マスクの着用、入る際は備え付けの消毒薬で手指の消毒をお願いしています。本堂の窓は開け換気を良くし、参列者同士の間隔を十分に空けています。夏の新盆施食会法要は各家

変わる葬儀事情

コロナ禍は葬儀の伝統にも変化をもたらしました。感染対策のため会場には入場制限が設けられ、家族中心かごく近い方だけの小規模な葬儀がほとんどです。

ここ石川では、訃報を出し密にならない工夫をしながらご縁のある方々の弔問は拒まない形で執り行われています。が、都市部ではコロナを理由に他からの弔問を一切受けつけないところまで現れました。

大切な方を失うことは、家族であれ友人であれ、大きな悲しみです。他人でも故人とご縁の深さによっては悲嘆に打ちひしがれる方もおりま

す。人は最期の看取りや、その後の通夜・出棺・葬儀といった一連のプロセスを経ていく中で、大きな悲しみを少しずつ受け止めていくのですが、コロナ感染の心配や遠慮から最期に立ち会えなかったため、心に大きな爪痕を残す人もいます。

葬儀業者もコロナ禍に少人数の参列、後席の会食は持ち帰り等で対応しています。幸いに町内葬儀業者は葬儀の大切さを理解し誠心誠意携わってくれています。故人や遺族の思いを文章にして会葬者に配布したり、遠方で参列できない方にリモートで葬儀の様

子を知らせたりと心に残る葬儀の工夫をしています。どんな方の一生にも、喜びや悲しみ、笑いや涙、人との出会いや知り得ない悲しみがあるでしょう。その人だけのかけがえのない人生の卒業式が葬儀なのです。

故人を偲び、故人との思い出を温め、ご苦労さまでした、ありがとうございますと語りかけながらお送りしたいものです。

コロナの非常事態の中であっても、私も僧侶も葬儀の意義をしっかりと心に留め関係者に寄り添いながら厳粛にそして暖かく執行していきたいと思えます。

智慧のことば (法句経)

人に生まるるは難く、いま生命あるは有難く、
 世に仏あるは難く、仏の教えを聞くは有難し。
 (182)

わが愚かさを悲しむ人あり。この人すでに愚者にあらず。自らを知らずして、賢しと称するは愚中の愚なり。
 (63)

裏駐車場整備工事終わる

今年度護持会事業である「長泉寺裏駐車場裏参道整備工事」は八月末無事終了し、お参りの利便性が格段に向上しました。

今までは三芦方面からの狭い表参道での出入りでしたが、今後益彼岸や大きな法要・集会の折には三芦方面から入り高田方面に出る一方通行になります。また裏駐車場には約十台の車が駐車できま

す。この整備により、指摘されていた車の接触の危険性はなくなると思われます。

経費はお檀家からご葬儀の折にいただく祠堂金とお新盆を迎えたお檀家からいただく新盆祠堂金の積立金、六月に亡くなられた中田高野塩田正幸さまのご遺志によるご寄付、施工業者中村幸吉様のご寄付等でまかれました。また、入口の石垣と植栽は谷沢水野造園水野勝男さま自ら腕を振るい施工し、ご寄付下さったものです。鮫川石をふんだんに使った野面積みの格調高い景観になっています。

工事決算書	
舗装工事一式	4,950,000円
北側境界土留ブロック工事	462,000円
駐車白線ライン工事	275,000円
隣地境界測量費	59,898円
総額(中村建設工業へ支払い)	5,746,898円
支出内訳	
護持会祠堂金積立より	4,771,898円
塩田正幸氏遺志	500,000円
中村幸吉氏寄付	275,000円
住職負担分	200,000円
計	5,746,898円

なお住職負担分とは、公私を区別するため、住職家族の車両を常駐するスペースの舗装代として負担したものです。

